

友愛ネット

学校教育目標

地域とともに創る、笑顔があり元気な学校

～他者とのつながりを大切にし、自ら学び、行動する、自立した生徒の育成～

津山東中学校

令和 6年 6月 4日

No.6



ホームページ

学校運営協議会が行われました

津山東中学校に、津山市内で初めに CS (学校運営協議会) の制度が立ち上がり、今年で 4 年目になりました。5 月 30 日に行われた第 1 回部会では、授業参観のあと、今年度の学校の基本方針を確認したり、今後の CS の活動について議論したりしました。

参加された委員の皆さんからは、授業参観後、「生徒が頑張っていますね。」という声をいただきました。

校長からは学校の基本方針や教育目標の具体化に向けてどのような取り組みを進めるのか、現在の学校の様子などを説明しました。

今後の取組についても多くの意見を頂きました。その中では、「つやま郷土学」の取組を応援するご意見や、部活動の地域移行についてのご意見、公民館活動に対するご意見など、今後の学校運営に関する多くのご意見をいただきました。

今後も、生徒を中心に据え、学校、地域、保護者が三位一体となり、教育活動を進めていきたいと考えています。



生徒総会がありました

コロナ禍以降リモートが進み、全校生徒が集まる機会が減ってきましたが、今年の前期の生徒総会は、生徒会執行部の生徒達から、「リモートではなく、直接顔を合わせた対面で行いたい。」といった強い要望がありました。その要望を受けて、体育館で全校生徒が一堂に

会した生徒総会を行いました。そして、要望を出した執行部自身が、自分たちの力で生徒総会を成功させるために、長時間の議論を重ね、綿密な計画を立てていました。その中では、職員に対しても、「生徒総会は生徒自身の手で頑張ります。」といった話もあり、まさに集会の移動前の声かけ、体育館での声かけ、会の進行などすべてを計画通りにやり遂げました。前に立って発表する各委員会の委員長や学年代表の生徒もしっかりとした態度で発表していました。

生徒会活動は生徒の手による自治活動です。今回のように生徒自身が考え行動する経験を積み重ね、自分たちの手で学校は変えることが出来ると自信を持つことにつながればと思います。



陸上競技美作地区予選会

陸上競技部の美作地区予選会が 27 日(月)に行われました。多くの部員が練習の成果を発揮し、県大会出場を勝ち取りました。各種目 3 位に入った選手を紹介します。

2 位 1 年 100m 光岡航琉 2 年 100m 竹内芽咲 200m 小童谷蓮
400m 長光颯太 走高跳 真木駿

3 位 200m 高谷有 400m 小童谷蓮 1 年 1500m 泉水利琥
3000m 河野隼人 4 × 100mR 長光颯太、小童谷蓮、橋本旺典、高谷有

上記選手をはじめ総勢で 15 名の選手が県大会に出場します。

他の運動部は 6 月 28 日(金)～の美作大会で県大会出場が決まります。頑張ってください。



目に見えないところでも・・・

地域の方から「休みの日に部活動で走っている中学生がものすごく気持ちの良い挨拶をしてくれた。嬉しくなって電話をしました。」という電話を受けました。男子バレー部の練習中の出来事だったようです。部員に聞くと、いつも通りの挨拶をしていたということでした。(日常になっているのですね。)

上の駐車場の凸凹が激しく、津山市にお願いして砂利を追加で入れてもらいました。ただ、その整地がなかなか進まず困っていたところ、野球部員が放課後の練習時間に手伝ってくれました。かなり大変な作業でしたが、黙々と作業をして一気に整地が進みました。

吹奏楽部が練習をする技術室前の廊下を歩きながら、吹奏楽部員に、「練習後、開けている窓を閉めて鍵をかけてくれますか？」と聞いたところ、「鍵締めは当たり前です。大丈夫任せて下さい。」と返事をもらいました。

科学部の生徒も毎回の活動後、一斉に廊下に出て窓の鍵閉めを行ってくれています。

それぞれの部の活動を頑張るだけでなく、当たり前のこととして「マナー」や「ボランティアの精神」が身についています。今回は部活動の一例を紹介しましたが、学校生活の中でもこのような場面は随所に見受けられます。目に見えないところでも、このような行動が自然と出来る人になって欲しいです。

教育実習の先生が来ています

5 月 27 日 (月) ～ 6 月 14 日 (金) の 3 週間、3 名の先生が教育実習に来ています。皆さんとともに学校生活を過ごしなが、先生への一步を進めます。よろしくお願いします。